

6月定例市議会

(会期：6月11日～22日)

平成30年度一般会計補正予算などを可決

市議会6月定例会が6月11日に招集され、22日まで12日間の会期で開かれました。上程された議案は平成30年度一般会計補正予算および各特別会計補正予算など11件と報告1件で、全てが原案のとおり可決されました。

上程された主な議案

◇にかほ市遊休公共施設等利活用促進条例制定について

業を行う法人または団体に対し
奨励措置を講ずることにより、
遊休公共施設等の有効活用を図
るとともに、地域の活性化およ
び雇用機会の拡大を図るため、
本条例を制定しました。

◇にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例制定について

再生可能エネルギー発電施設の立地による協力金、その他の収入金等を積み立て、環境の美化と自然環境の保全、地域資産のブランド化の推進、児童生徒の教育環境および良好な住環境の整備を図る事業等の経費に充てる基金を設置するため、本条例を制定しました。

直したほか、定額運賃と無料乗車の対象を拡充したことにより、通院や買い物などの利便性が格段に向上するものと考えています。

無料化となる対象者などについては、広報やホームページに掲載しているほか、公共交通マップを全戸配布して周知を図っていますが、今後も移動手段の一つとして選択されるようPRに努めて参ります。

◆羽後交通・小砂川線の200円乗車券の発行

羽後交通が運行する生活路線に、7月1日からコミュニティバス運賃と同額で路線バスをご利用いただける、200円乗車券の運用を開始します。

この乗車券は、利用者にご購入いただくことで、1乗車につき1枚を運賃の代わりとして利用できるもので、運賃が200円を超える区間の乗車の場合には、その超えた運賃分を市が負担します。

こうした取り組みにより、路線バス利用者の増加に繋がるものと期待しています。

◆日本遺産追加認定

昨年度、北海道から福井県ま

主な市政報告

◆平成30年度の課税状況

5月末現在の軽自動車税の調定額は、前年同月比2・1%、約151万円増の7、289万円となっています。固定資産税については、太陽光発電施設等の償却資産の増加に伴い、調定

移住希望者に対して、更なる支援や情報提供の充実化を図るため、行政と市内の関係団体とで構成される「にかほ市移住・Uターン推進協議会」を今年4月に新たに発足しています。

◆コミュニティバス運行路線の再編

7月1日からエミユニティバスの運行路線を再編すると共に、運賃を一律200円とし、小中学生や75歳以上の高齢者、障がい者、運転免許返納者などは無料とするなどの運行形態を見直した実証運行を開始します。

路線再編の主なものは、院内線では小出地区を含む循環方式に改め、釜ヶ台線と共に小出診療所にバス停を新設するほか、大竹線を加えた三路線を大型スーパー駐車場へ乗り入れることとしています。

上郷線では、小滝線で鳥の海地内の運行を路線に加え、大型スーパー前にバス停を新設することとしています。

また、すべての路線で、JR

スエパー前にバス停を新設することとしています。

また、すべての路線で、JRや羽後交通生活路線バスとの連絡などを考慮した運行時刻に見

喜化を進めて参ります。

主な教育行政報告

◆新生・象潟小学校の開校式

象潟・上浜・上郷の3小学校
が統合して誕生した新生・象潟
小学校の開校式を5月1日に、

児童418人、来賓74人、保護者33人、教職員等56人、計581人出席のもと挙行しました。式では、新しい校旗が市長から校長に授与されたほか、3小学校出身の児童3人から「力を合わせて、笑顔いっぱいの学校にしていきたい」と「誓いのことば」が述べられました。また、統合を機に新しくなった「校章と校歌」についても3小学校出身の児童3人から由来などについて紹介が行われました。

最後に、新しい校歌「笑顔輝く」を児童が元気に合唱し、開校式を終えることができました。



民間事業者に委ねることが最善であると判断し、再度「にかほ市ガス事業譲渡先選定委員会」を設置し、関係機関との協議や指導を得ながら、ガス事業の民

民間事業者に委ねることが最善であると判断し、再度「にかほ市ガス事業譲渡先選定委員会」を設置し、関係幾関との協議や